

令和元年十一月八日(金)

午前九時三十分開場・十時開演

2019 鎌倉市民文化祭参加

第二十七回

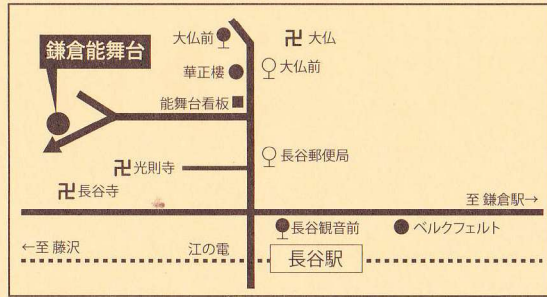
鎌倉謡曲連盟

謡曲と仕舞のつどい

於 鎌倉能舞台

ご来場歓迎

入場無料



[交通] JR鎌倉駅よりバスにて15分「長谷観音前」
 または江ノ電「長谷駅」下車徒歩7分
 ● 鎌倉から大船・扇沢・堀原・鎌倉山・江ノ島行きなど ○ 大船・扇沢方面より鎌倉行き



鎌倉市民文化祭21 ©
 見つめて、文化。見すえて、未来。

十時

鎌倉宝生会

素謡
龍

シテ 岩谷 久生

田 ワキ 菊池 巖

ワキ待謡「神の御前に通夜をして」から終わりまで

門脇 順 寺部 良樹
 川島千鶴子 吉田 澄夫
 岩崎みき子 坂井 喜朗
 小野 光枝 齋藤 良太

素謡
安

宅 高木 了二 大林 淑

子方 國谷 桂子
 山伏 溝口 雄三
 山伏 川勝 暉生
 山伏 後閑 延夫
 山伏 大久保 美武
 山伏 後藤 和司

省略箇所 時しも…有乳山及びそれ世は…恨めしの憂き世

藤田 弘子 坂東 輝夫
 松岡 美子 佐藤 峻輔
 高木 直美 片山 直輝
 大山 弘子 市橋 俊一

観世流
長謡会

素謡
玉

鬘

前川

鶴子

高橋

徹

鈴木 幸江
小山美代子
磯崎 洋子

中谷 哲夫
伊藤 武男

観世流
湘謳会

仕舞

鐵

輪

小山美代子

観世流
水謡会

経

正キリ

伊藤 武男

西山 孝之
田中 重康
大谷 弘

仕舞

羽

衣

鈴木 幸江

観世流
湘謳会

高橋 徹
伊藤 武男
中谷 哲夫

仕舞

春日龍神

室井 正嗣

観世流
長謡会

屋 島

松岡恵美子

片山 直輝
小川 恵也
高木 了二
市橋 正之

桜柳会

通 盛

相良 真士

十二時頃

理事長挨拶

大久保美武

素謡
江

シテ門脇

順

口

ツレ小野

光枝

ワキ坂井

喜朗

菊池 巖
川島千鶴子
岩崎みき子
齋藤 良太

寺部 良樹
吉田 澄夫
岩谷 久生

宝生流
鎌倉宝生会

ワキ「ふしぎやな月澄み渡る水の面に」から地「面白や」まで

素謡

大原御幸

黒沢 裕美

舎川 重隆

小川 恵也

法皇・佐藤 俊輔
内侍・鈴木 邦子
局・高木 直美

坂東 輝夫
松沢 俊一
北島 大靖
片山 直輝
石原 明彦
高木 了二
萩原 健司
鳥居 正義

観世流

睦 会

ワキの一セイより始めて地謡上歌・ロンギを省く

仕舞

玉

鬢

大久保勝子

芭

蕉

堤 美代子

井

筒

松嶋 總子

富士太鼓

加藤千恵子

女郎花

齊藤千賀子

常深 庸一
森 仁英
平戸 宏三
小林 次八
長谷川 次八

観世流

白謡 会

素謡

花

筐

ツレ岩崎みき子

ワキ寺部

良樹

シテ川島千鶴子

シテ「君が住む趣の白山知らねども」から地「叫び伏して泣き居たり」まで

菊池 巖
門脇 順
小野 光枝
齊藤 良太

坂井 喜朗
吉田 澄夫
岩谷 久生

鎌宝会

鎌倉教室

素謡

山

姥

小池佐知子

中谷

啓子

木本 悦子

省略箇所 クリ・サシ・クセ

秋元 孝子
磯崎 洋子
前川 鶴子
相澤 芳子

観世流

あやめ会

連吟

葛

城

シテ橋本

鏡子

中入り後

ワキ北島

大靖

鈴木 幸子
齊藤 三紀
小島 洋子
鈴木 紀子

森川 洋子
尾崎 純江
石井 静江
内田 節子

観世流

白謡 会

十五時頃

素謡

子方 市瀬美津江

船 弁慶

大久保美武

相良 真士

川勝 暉生

省略箇所 サシ・クセ

松岡恵美子
大山 弘子
室井 正嗣
溝口 雄三
後関 延夫

佐藤 峻輔
坂東 輝夫
小川 恵也
松沢 俊一
大林 淑

観世流
桜柳会

素謡

シテ 坂井 喜朗

船 橋

ツレ 齊藤 良太

ワキ 寺部 良樹

ワキ「見申せば俗躰の身として」から中入りまで

菊池 巖
川島千鶴子
小野 光枝
岩谷 久生

岩崎みき子
吉田 澄夫
門脇 順

鎌宝会
鎌倉教室

素謡

子方 唐津きよ子
ツレ 磯崎 洋子

歌 占

堤 孝

ツレ「いかに申すべき事の候」より始め

小野 静江
鈴木マサ子
中野 典雄
池田 浩子
小山美代子

西山 孝之
伊藤 武男
田中 重康
大谷 弘
後関 延夫

観世流
水謡会

附 祝 言

終演予定十六時四十分

鎌倉謡曲連盟

加盟団体

観世流

あやめ会・桜柳会・水謡会・湘謳会

深謡会・長謡会・白謡会・睦会

宝生流

鎌倉宝生会・鎌宝会鎌倉教室

お問合せ先 理事長 大久保 美武

電話(〇四六七) 五三一九七三七